



アレイバツク!

絵画コレクション 名品展

MASTERPIECES OF PAINTING
FROM THE MUSEUM COLLECTION

2022.2.19|土|—3.27|日|

休館日:月曜日(3.21|月・祝|は開館し、3.22|火|休館)

開館時間:午前9時—午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料:一般・大学生400(300)円 小・中・高生200(100)円

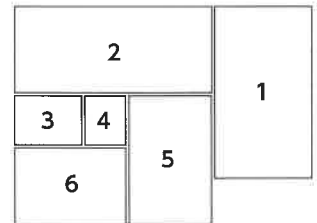
* ()内は20名以上の団体料金。

* 「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方と介助者は無料(マイID可)。

* 「ほの国こどもパスポート」をお持ちの小・中学生(東三河地域在住または在学者)は無料。

* 豊橋市在住の70歳以上の方は割引料金(200円)。

豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY



1979年の開館以来、豊橋市美術博物館では美術資料として郷土ゆかりの作品を主に収集してきました。そのコレクションを振り返ると、豊橋を中心に東三河で展開されてきた美術の流れをたどることができます。

江戸時代後期から明治期にかけては近世の流派が受け継がれ、当地方では円山四条派や谷文晁門下の画人、渡辺小華とその門人たちが活躍しました。昭和戦後期からは中村正義が日展を離れて独自の創作活動を行い、我妻碧宇らは美術団体白土会を結成します。また星野眞吾、平川敏夫、大森運夫といった日本画家が活躍しました。

一方洋画の分野では、明治時代以降、島田卓二が黒田清輝に学び、高須光治は岸田劉生主宰の草土社に参加します。また、東京で指導を受けた美術教師たちが展覧会活動などを通じて洋画振興に尽力しました。戦後は情報化が進んで地域性が薄れるとともに、多様な価値感に基づいた作品が生まれています。

本展では館所蔵の絵画を通して、主に東三河の近現代の美術を簡潔に展覧します。なかでもこれまで人気の高かった作品や、作者の代表作などを取り上げます。当館は2022年6月から翌年9月まで改修整備工事のため休館いたします。開館後最も長期にわたる休館を前に、当館コレクションの核となる名品の数々をぜひご覧ください。

1. 恩田石峰《三士桃苑図》1806年 東観音寺(寄託)
2. 松林桂月《葡萄栗鼠》1936年
3. 岸田劉生《卓上林檎葡萄之図》1918年
4. 中村正義《花図》1968年 小松コレクション(寄託)
5. 岡田三郎助《麻の着物》1929年
6. 野田弘志《やませみ》1971年

イベント情報

◆当館学芸員による展示解説

2月23日(水・祝)、3月6日(日)
いずれも午後2時から

会場: 2階展示室

参加費: 無料(要観覧料、申込不要)

◆びはく講座「美術とデザイン」

3月12日(土)午後2時から

講師: 当館学芸員

会場: 1階講義室(聴講無料)

定員: 24名(先着順)

3月3日(木)より
当館ウェブサイト
または電話で
申し込み



TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY
豊橋市美術博物館

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL.0532-51-2882 FAX.0532-56-2123
<http://www.toyohashi-bihaku.jp/>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、事業内容を変更または中止する場合があります。最新情報は当館ウェブサイト等でご確認ください。
※ご来館の際にはマスクをご着用ください。発熱や咳などの症状が認められる場合は、入館をご遠慮ください。
※他のお客様とは距離を空け、大きな声での会話はお控えください。